

第137回教育研究評議会議事要録

日 時 平成28年6月13日（月）14時00分から15時55分まで

場 所 本部棟5階 大会議室

欠席者 小川教育学部長

陪席者 千家監事，篠塚監事

- ・第136回の教育研究評議会議事要録について承認された。
- ・第136回教育研究評議会議の報告事項3「平成28年3月卒業・修了者の進路状況について」に関する質問に対する回答が資料として配布された。
女性の卒業生に対する進学者の割合，就職者の割合と同様に臨床研修医の割合が大きく，その割合を記載することにより，就職割合は減っているが，それ以外の指標は上がっていることが説明できるように表現した方がよいとの意見があり，次回経営協議会に提出する資料は，修正することとした。
- ・学生の不祥事について，荒瀬理事から現在確認している内容が報告された。

議題1．国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について

議題2．島根大学教育・学生支援機構規則の一部改正について

議題3．島根大学教育・学生支援機構入学センター規則の一部改正について

議題4．国立大学法人島根大学教育職員の任期に関する規程の一部改正について

議題1から議題4までについては，入学センターをアドミッションセンターに改めることによる改正であることから，一括審議とされた。

議題1については藤田理事から，議題2，3については荒瀬理事から，議題4については，総務部長から資料により説明され，原案どおり承認された。

議題5．平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について

秋重理事から資料により説明があり，学長より今後修正することもありうるため，大卒について承認いただきたい旨の説明があり，原案どおり承認された。

報告事項

学長から，報告事項については，「会議の効率的な開催について（申し合わせ）」に基づき特に説明が必要な事項について報告する旨の説明があり，報告事項2の「3ポリシーの策定に関するガイドライン（島根大学版）」については，学長及び武田副学長から教育・入試改革特別委員会からの答申について報告があった。

「ディプロマポリシーについては，学部共通に加えて学科毎のものがあってよいのか」という質問があり，「ディプロマポリシーが多くなれば，説明も複雑になることを考慮して慎重に検討してほしい。」との回答があった。

次に，報告事項3の平成28年度入試実施状況について荒瀬理事及び入学センター美濃地准教授から報告があり，学長から教育内容，研究内容の高校への広報の重要性について確認された。

続いて，報告事項4の平成28年度大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」申請内容について荒瀬理事から報告があった。

続いて、報告事項5の正門及び東門付近の安全対策について松浦理事から報告された。

最後に、藤田理事から男女共同参画室で企画された「しまねガールズサイエンスライター研修会」実施の報告がなされ、女性研究者の割合を増やしていくことが社会的公約であるのでしっかり取り組む必要があることが確認された。